

# 三方五湖学習

環境教育部会 研修会を開催しました！

令和7年8月26日に環境教育部会で研修会を開催しました。

若狭町立梅の里小学校 谷保裕子教諭を講師に、「三方五湖流域の自然再生への道を、子ども・地域の人々と共に探る」と題し、三方五湖自然再生協議会の「湖と田んぼのつながり再生部会」や「環境に優しい農法部会」等と協働しながら、小学校の子どもたちが探究した三方五湖流域の自然再生活動の実践事例をご報告いただきました。

美浜町・若狭町の小中学校教員の方々や再生協議会の他部会の方々にもご参加いただき、大変有意義な研修会となりました。



研修会の様子



谷保裕子教諭による説明

## 三方五湖の自然とめぐみTOPICS

### 美方高校生への再生協議会の紹介

令和7年6月25日に、美方高校1年生が探究活動にて、自然再生協議会の取組などについて学びました。

当日は、水田養魚の取組や、外来種などについての講義の後、実際の現場として、若狭町鳥浜のコイ・フナの子育て田を訪れました。また、三方湖畔では、網によって捕獲されたアカミミガメを見ながら、外来種が湖の生態系に与える影響等について説明を受けました。



### 三方五湖のなかまたち

オイカワ (コイ科)

- ・全長15cm。
- ・明るい開けた場所を好み、昆虫や藻類等を食べる。
- ・オスは繁殖期になると、青緑色とピンク色の派手な婚姻色になる。
- ・しりびれはメスよりオスのほうが長い。



### 自然再生関連会議等開催情報

- ◆令和7年度全体会
  - ・全体会…令和8年3月20日
- ◆自然護岸再生部会
  - ・部会会議…令和7年7月14日、11月19日、令和8年3月5日
  - ・研修会…令和7年11月3日
- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
  - ・部会会議…令和7年5月28日、令和8年3月11日
- ◆外来生物等対策部会
  - ・部会会議…令和7年4月25日、7月16日、11月19日、令和8年3月12日
  - ・イベント…令和7年5月22日、25日
- ◆環境に優しい農法部会
  - ・部会会議…令和7年8月5日、12月11日
  - ・勉強会…令和8年2月19日
- ◆環境教育部会
  - ・部会会議…令和7年5月27日、12月16日
  - ・研修会…令和7年8月26日
- ◆シジミのなぎさ部会
  - ・部会会議…令和7年8月25日、令和8年2月24日

最新情報はこちらから→



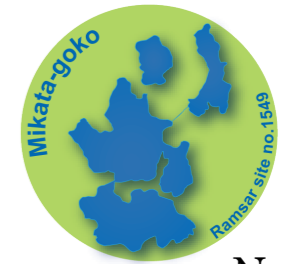
### 問合先

福井県エネルギー環境部自然環境課  
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号  
TEL 0776-20-0306

美浜町産業政策課  
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市第25号25番地  
TEL 0770-32-6706

若狭町環境安全課  
〔若狭町役場三方庁舎〕  
〒919-1393 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地  
TEL 0770-45-9126

# 三方五湖 ニュースレター



No. 31  
令和8年3月31日発行



令和7年度の活動

### 目次

三方五湖自然再生協議会令和7年度全体会開催  
水辺の小さな自然再生の研修会 ..... 1

タモロコ等の水田養魚の取組、自然護岸・なぎさの再生、水稲有機栽培の抑草  
技術についての勉強会、アカミミガメ一斉捕獲、滋賀県・島根県との交流 ..... 2

三方五湖学習、自然再生関連会議等開催状況、  
自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち ..... 3

# 三方五湖自然再生協議会 令和7年度全体会開催

令和8年3月20日（金）に、福井県立三方青年の家に於いて令和7年度三方五湖自然再生協議会全体会が開催され、関係者約60名が出席しました。

全体会では、今年度の自然再生事業の進捗状況・成果についての報告や、三方五湖子どもラムサールクラブの子供たちによる発表がありました。また、水月湖も関わる内容として、東北大学大学院の鈴木様から、汽水域生態系の動物プランクトンに対する塩分濃度変化の影響を調べた研究の紹介がありました。



全体会の様子

# 水辺の小さな自然再生の研修会 小さな自然再生で学ぶ サケやアユの遡上環境改善

自然護岸再生部会では11月3日（月・祝）に、三方五湖周辺の河川における魚類をはじめとした生物に配慮した取組みを考える機会として、「水辺の小さな自然再生」の研修会を行いました（主催：三方五湖自然再生協議会、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク）。

研修会では、「現地視察（はす川流域を巡る）」としてはす川や串小川の一部を回り、魚類の遡上への影響が考えられる“落差工”などを確認しながら、多様な水辺環境や魚類の遡上に配慮した環境を創出するための手法について学びました。

講師や研究者、参加者からは、はす川等で考えられる取組みについて多くの具体的なアイデアを出していただき、「小さな自然再生」へ



座学研修

- [全体会次第]
1. 開会 あいさつ  
会長 鷲谷いづみ（東京大学名誉教授）
  2. 来賓 あいさつ  
若狭町長 渡辺英朗、美浜町長 戸嶋秀樹
  3. 内容
    - (1) 活動発表
      - ・子どもラムサールクラブ 活動発表（環境教育部会関連）
    - (2) 令和7年度活動報告および令和8年度活動計画
      - ・自然護岸再生部会
      - ・湖と田んぼのつながり再生部会
      - ・外来生物等対策部会（外来種対策、ヒシ対策）
      - ・環境に優しい農法部会
      - ・環境教育部会
      - ・シジミのなぎさ部会
    - (3) その他
      - ・（講演）「汽水湖の生態系にとっては農業よりも温暖化による塩分変化の影響が深刻：動物プランクトンの農業暴露実験の結果」（東北大学大学院 鈴木碩通）
      - ・三方五湖世界農業遺産推進協議会 令和7年度活動報告
  4. 閉会 あいさつ  
副会長 吉田丈人（東京大学教授）  
副会長 青海忠久（福井県立大学名誉教授）

の理解を深めることができました。今後、研修会で得た知識や手法例などをもとに、「小さな自然再生」の実施について、自然護岸再生部会の中で話し合いを進めます。



現地視察

自然護岸再生部会では、「久々子湖、水月湖、菅湖、三方湖、及びはす川等の自然護岸再生の手引き」を作成し、福井県ホームページで紹介しています。

三方五湖 自然護岸  検索

# タモロコ等の水田養魚の取組 湖と田んぼのつながり再生

湖と田んぼのつながり再生部会では、フナ、コイ、タモロコの水田養魚に取り組んでおり、今年度は、タモロコについて、水槽内での採卵により得た稚魚（2,632匹）を菅湖畔の水田（休耕田）に収容しました。休耕田で育成したタモロコは、合計267匹（途中採捕92匹、取上げ175匹）を菅湖に放流することができました。

# 滋賀県・鳥取県・島根県との交流 子どもラムサールクラブ

毎年、三方五湖子どもラムサールクラブでは、滋賀県琵琶湖の「こぼたん」と交流をしています。今年度は、滋賀県琵琶湖の「こぼたん」、鳥取県中海の「米子水鳥公園子どもラムサールクラブ」、島根県宍道湖の「宍道湖グリーンパーク&ゴビウスラムサール探偵団」、福井県三方五湖の「三方五湖子どもラムサールクラブ」の4つのラムサール条約湿地のクラブが集まり、それぞれのクラブの活動の発表や、湖岸での観察などを行いました。

子どもたちは、湖岸でオオワシやコハクチョウなどの野鳥を観察したり、各湖にいる生き物や野鳥について話したりして交流を深めました。

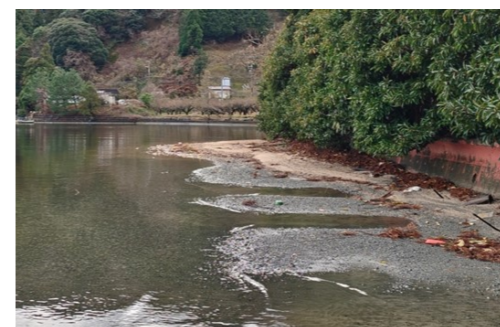


活動の発表

# 自然護岸・なぎさの再生

自然護岸再生部会とシジミのなぎさ部会では、シジミが生息（定着）できるなぎさの再生を久々子湖と水月湖で、生きものの隠れ場所となる石倉漁礁の設置を水月湖で実施しました。

また、シジミ資源調査（殻長組成）の実施により、令和7年度は久々子湖・水月湖ともに稚貝の加入が非常に少なかったことがわかりました。一方で、今年度の調査で確認できた最も大きいシジミは過去最大であることから、養浜によりシジミが長生きできていることが考えられました。



シジミのなぎさ再生（水月湖）



石倉漁礁設置（水月湖）

# 水稲有機栽培の抑草技術についての勉強会

環境に優しい農法部会では、令和8年2月19日（木）に、「水稲有機栽培の抑草技術」についての勉強会を開催しました。講師に公益財団法人自然農法国際研究開発センターの三木孝昭氏をお迎えし、21名が参加しました。講師からは、「イネが雑草との競争に勝ち、元気に育つ状態」を目指し、耕耘・施肥・水管理などの各技術を戦略的に組み立てることや、それぞれの田んぼの特性（気候や土壌、水利環境）を知り、環境や装備に最適な手法を選ぶヒントを教えてくださいました。

# アカミミガメの一斉捕獲

外来生物等対策部会では、5月25日（日）に三方五湖のアカミミガメ一斉捕獲調査を実施しました。当日はあいにくの雨でしたが、部会員の皆さんのほかに、7家族24人にも参加いただき、事前に設置した罠の回収やアカミミガメの計測、そのほかの生きものの観察などを行いました。今年度は13匹のアカミミガメを捕獲し、一番大きな個体は約23cm・約1.5kgでした。



捕獲したアカミミガメ

## 【なぎさの再生】

久々子湖畔…他事業で発生した河川の浚渫土（940㎡）を使用し、なぎさを再生しました。

水月湖畔…12月に国道27号歩道工事（国土交通省）での土砂（195㎡）を搬入し、重機により整地しました（172.5㎡）。

## 【石倉漁礁の設置】

水月湖畔…2月に若狭町海山地係で、魚類など多様な生物が生息できる環境を創出するために、コンクリート護岸沿いに石倉漁礁を8基設置しました。



シジミ資源調査

